

既存建築物の増改築等の際に行われる安全な部材接合のための 構造性能確認方法を提案します

～「接着系あと施工アンカーを用いた構造部材の構造性能評価方法に関する検討」の公表～

既存建築物の有効なストック活用が求められている現代社会において、建築物の増築や間取り変更などにおいて構造的な検証が必要な改修ニーズもますます高まりを見せています。

そのような中、国立建築研究開発法人 建築研究所では、建築物の改修における部材接合の中核技術である「接着系あと施工アンカー」に関する多くの単体試験・部材実験から得られるデータを用いて、施工方法を含む構造安全性を確保するための性能の評価方法を、我が国で初めてとりまとめました。

今後は、本書の活用により、利用用途にあわせた既存建築物の改修と有効活用がますます進むとともに、建築関係法令への反映についても検討されることが期待されます。

●あと施工アンカーに関するこれまでの経緯

H18 あと施工アンカーの引張・せん断に関する短期許容応力度および材料強度の指定に関する告示改正

H20-22 建築基準整備事業「あと施工アンカーの長期許容応力度に関する検討調査」の開始

H27-29 建築基準整備事業「あと施工アンカーを用いた部材の構造性能確認方法に関する検討」の開始

H30-R2 建築研究所構造研究グループ研究課題「共同住宅の躯体改修においてあと施工アンカーを用いた部材の構造性能に関する研究」の開始

ダウンロードURL：

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/data/200/index.html>

(内容の問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所
所属 構造研究グループ
氏名 向井 智久 (むかい ともひさ)
電話 029-879-0688 (直通)
E-mail t_mukai@kenken.go.jp

接着系あと施工アンカーを用いた構造部材の構造性能評価方法に関する検討

目次

- 第1章 はじめに
- 第2章 接着系あと施工アンカー単体の性能および品質確認試験
- 第3章 接着系あと施工アンカーに使用される接着剤単体の物性および品質確認試験
- 第4章 接着系あと施工アンカーを用いた構造部材の構造性能確認試験
- 第5章 接着系あと施工アンカーの施工品質に関する試験
- 第6章 接着系あと施工アンカーおよび接着系あと施工アンカーを用いた構造部材の構造性能確認方法の提案
- 第7章 まとめ

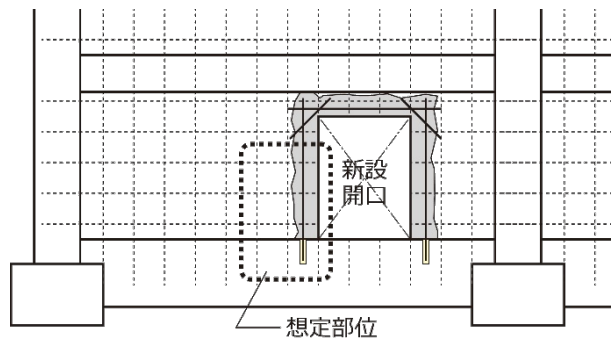
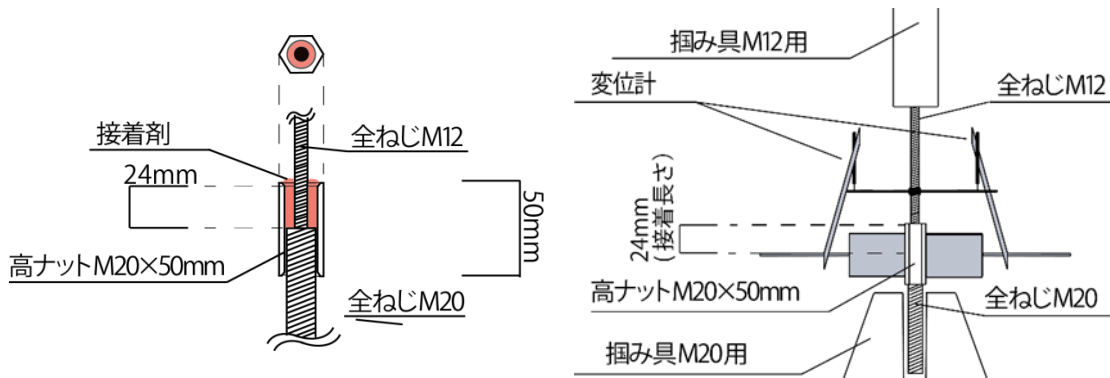


図1 あと施工アンカーの使用を想定する部材
(耐力壁に開口を新設する際の端部補強筋)



(a) 試験体の形状および寸法

(b) 載荷装置への試験体の設置状況

図2 あと施工アンカーに用いる接着剤の簡易試験法の提案